

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収 書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
令和6年 4月24日 ～25日	令和6年 4月25日 09:45～ 11:00	東京都港区新 橋1丁目11番 7号新橋セン タープレイス1 ・2階	とっとり・おか やま新橋館リ ニューアルオ ープンセレモ ニー	平井伸治鳥取 県知事・伊原木 隆太岡山県知 事 他	販路拡大を更 に進めていけ る策を検討す る一助とする ことを目的と する。	4-4, 4-5
令和6年 4月29日 ～30日	令和6年 4月30日 09:00～ 12:00	北海道札幌市 中央区北3条 西6丁目北海 道庁	カスタマーハ ラスメント条 例について	経済部労働政 策局雇用労政 課主査(労働福 祉)・川口孝 他	カスハラ条例 制定に向けて 検討している ことを伺った。	4-6 4-8, 4-9
令和6年 5月7日～ 9日	令和6年 5月8日 13:00～ 17:00	群馬県前橋市 大手町1-1-1 群馬県庁 他	全国都道府県 議会議員の会 シニアクラブ	小川あきら前 橋市長 他	全国都道府県 議会議員の会 のシニアクラ ブが主催する 研修会に参加。	5-2, 5-4 5-5, 5-6 5-7
令和6年 5月11日	令和6年 5月11日 14:00～ 16:00	東京都千代田 区平河町2丁 目7-4 シェー ンパッハ・サボ ー	全拉致被害者 の即時一括帰 国を求める国 民大集会	全拉致被害者 の即時一括帰 国を求める国 民大集会の参 加者	拉致問題は、党 派を超えて取 り組んでいか ねばならない ことを確認。	5-3
令和6年 5月13日 ～14日	令和6年 5月14日 11:00～ 13:30	大阪市北区天 満橋1-8-50 帝 国ホテル3階 孔雀東の間	ワールドマス ターズゲーム ズ2027セミナ ー	関西組織委員 会 会長 三日月大造 他	鳥取県盛田部 長が、「ねんり んピック」のPR を成功された。	5-9 5-10 5-11
令和6年 5月27日 ～28日	令和6年5 月27日 15:00～ 16:30	石川県金沢市 鞍月1丁目1番 地 石川県庁	能登半島地震 を踏まえた防 災対策につい て	危機管理監室 危機対策課防 災対策グルー プ専門員・桑山 直也	能登半島地震 の復興と震災 前の防災の取 り組みについて。	5-13 5-14
令和6年 6月3日～ 4日	令和6年 6月3日 11:00～ 18:30	千代田区永田 町2-1-2 衆議 院第二議員会 館第4会議室	全国災害ボラ ンティア議員 連盟	全国災害ボラ ンティア研修 会参加の皆様	防災対策をし っかりと行い、 全国の同志と 意見交換する。	5-15 6-2 6-3
令和6年 7月11日 ～12日	令和6年 7月12日 10:30～ 12:00	千代田区霞が 関2-2-2 文部科学省	学びの多様化 学校について	初等中等教育 局児童生徒課 生徒指導室	不登校になっ た子ども居場 所と学びの確 保を研究する。	7-3, 7-4

令和6年 9月4日	令和6年 9月4日 13:00～ 15:00	大阪府大東市 北条3丁目 10-5	morinekiの取 り組みについ て	株式会社コー ミン代表取締 役 ■■■■■	地方における持 続可能なまち づくりについ て研究する。	9-2, 9-3
令和6年 11月25日 ～26日	令和6年 11月25日	大阪府大阪市 北区天満橋 1- 8-50 帝国ホテ ル大阪5階	ワールドマス ターズゲーム ズ2027セミナ ー	ワールドマス ターズゲーム ズ関西組織委 員会	いつまでも健 康で生活する ための生涯ス ポーツの必要 性を学ぶ。	11-4 11-5 11-6
令和6年 12月22日 ～ 令和6年 12月23日	① 12月22 日16:00 ～17:00 ② 12月23 日09:00 ～11:00	① 和歌山県 紀の川市 貴志川町 神戸 803 貴志駅 ② 和歌山県和 歌山市小松 原通 1-1 和 歌山県庁	① 地域公共交 通によるま ちづくり ② 県庁舎によ る働きやす い職場環境 づくり	① たま駅及 び周辺の 皆様 ② 和歌山県 地域振興 部観光局 観光交流 課副課長 小川貴生	① まちづくり の中心に地 域公共交通 を置く手法 ② ネクタイの 着用に可否	12-4, 12-5
令和7年 1月16日 ～17日	令和7年 1月16日 16:30～ 19:00	大阪府大阪市 此花区桜島 1- 1-35 リーベル ホテル大阪	鳥取県×関西 経済連合会経 済交流セミナ ーin 関西	鳥取県政策戦 略本部関西本 部長・森本誠 人	関西における 鳥取と縁のあ る企業の皆様 の声を拝聴。	1-6, 1-7
令和7年 1月20日 ～21日	令和7年 1月21日 10:00～ 11:00	東京都千代田 区永田町 2 丁 目 2-1 衆議院 第一議員会館 多目的ホール	山陰近畿自動 車道整備推進 決起大会	山陰近畿自動 車道整備推進 議員連盟 山陰近畿自動 車道整備推進 協議会	山陰近畿自動 車道の整備を 国に推進して もらうよう要 請活動。	1-8 1-9 1-10
令和7年1 月23日～ 25日	令和7年1 月24日(金) 09:00 ～11:00	神奈川県茅ヶ 崎市茅ヶ崎 1- 1-1 茅ヶ崎市 役所	庁舎における 働きやすい環 境づくりにつ いて	茅ヶ崎市役所 経営総務部職 員課・金川桂子	働きやすい職 場づくりにつ いての研究。	1-11 1-12 1-13 1-14 1-15
令和7年1 月31日	令和7年1 月31日(金) 13:00 ～ 14:10	東京都千代田 区永田町 2 丁 目 2-1 衆議院 第一議員会館	第3回水の政 治・政策オープ ンフォーラム	国土交通省大 臣官房参事官・ 石井宏幸	水道&下水道 管路耐震化と 老朽管への対 策及びこれま での経過と今 後の対応。	1-16, 1-17

・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。

・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。

活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	とっとり・おかやま新橋館リニューアルオープンセレモニー
活 動 年 月 日	令和6年4月24日(水) 移動日・宿泊 令和6年4月25日(木) 09:45~11:00
場 所	東京都港区新橋1丁目11番7号 新橋センタープレイス1・2階
活動の相手方	平井伸治鳥取県知事・伊原木隆太岡山県知事他
活 動 の 目 的	鳥取県産品を県内外に発信して、販路拡大を進めていくことは必要なことである。日本の首都である東京において、直接、鳥取県を感じてもらう「ももてなし館」の存在は、非常に貴重である。今回、リニューアルオープンセレモニーが行われるということで、実際に見て、来店される方の声を聞くことで、販路拡大を更に進めていける策を検討する一助とすることを目的とする。
活 動 の 内 容	10時から11時までの間、オープニングセレモニーが行われた。両県知事により、先着100名にプレゼントを手渡すというおもてなしがあった。開店前から列に並んだ方も喜ばれていた。また、鳥取県と岡山県による贅沢な新メニューである井ぶりの披露や、トークセッションもあった。30を超える多くのマスコミが駆けつけて取材しており、この度のリニューアルオープンは、PR戦略としては大成功だと感じた。
活 動 の 結 果 等	日本の首都であり、しかも交通のアクセスに抜群の新橋駅の近くの好立地にある「ももてなし館」は、岡山と共同で運用するという素晴らしいアイデアにより、ゆとりのあるスペースとなっている。来客した方にお話しを伺っても、「お気に入りの商品があり定期的に通っている」と話す東京在住で、鳥取県とは特に縁のない方の声も聞いた。非常に効果の高い取り組みであると感じた。ここを拠点に、更なる販路拡大策を検討していくことが必要だ。5月21日に開かれた常任委員会で「PR戦略としては大成功。毎年、何らかのリニューアルオープンセレモニーを開いてはどうか」と、委員として提言した。 
関連領収書番号	4-4, 4-5

活 動 報 告（県外）

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	カスタマーハラスメント条例について
活 動 年 月 日	令和 6 年 4 月 29 日（月）移動日・宿泊 令和 6 年 4 月 30 日（火）09:00～12:00
場 所	北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目 北海道庁
活動の相手方	経済部労働政策局雇用労政課主査（労働福祉）・川口孝 経済部労働政策局雇用労政課働き方改革推進室主査・齋野二裕 等
活 動 の 目 的	令和 6 年 6 月議会で、カスタマーハラスメントについて質問する予定にしている。課題先進県として、北海道、東京都、三重県がある。昨年度末に東京都庁に出向いてお話を伺った。今回は、北海道庁にて、カスタマーハラスメント条例制定に向けた取り組みを伺い、自分自身の質問に活かしていくことを目的とする。
活 動 の 内 容	北海道において、カスタマーハラスメント条例の制定に向けて動きが加速しているという情報を得た。昨年度末に、東京都庁にてお話を伺った際は、小池知事が議会答弁の中で、カスタマーハラスメント条例制定に向けて検討すると答弁したことが契機となったと伺った。法律に定められていないものを条例化しなければならないほどの深刻な状況が発生しているのか、また、具体的にはどのような内容であって、どのような方々から要望があがっているのかなど、多岐にわたり、カスタマーハラスメント条例制定に向けて検討していることを伺った。
活 動 の 結 果 等	北海道においては、東京都とは異なり、執行部側が積極的に条例制定に向けて動いているということではないことがわかった。自民党の会派が、議員提案として条例制定を検討しているということだった。令和 6 年 3 月 13 日に、自民党会派の太田憲之議員が、予算特別委員会の中で、カスタマーハラスメントの現状認識、対策や条例制定の動きについて質問した。経済部長と、雇用労政課長兼働き方改革推進室長の二人が、主に、東京都の取り組みについて答弁されたということであった。その後、自民党会派を中心に、カスタマーハラスメント条例の必要について検討が進められ、議員提案で、他会派の理解も得ながら進めようとしているということであった。北海道では、労働相談ホットラインを委託しており、社労士が対応しているようだ。相談内容の内、ハラスメントにあたるものが令和 2 年 126 件、令和 3 年 118 件、令和 4 年 98 件に上るようであるが、その中身の大半はパワーハラスメントによるものであり、カスタマーハラスメントについては精査中であるとのこと。今回の視察を通じて、カスタマーハラスメントに困るのは、労働者だけでなく、事業主も困るということを理解した。必要があれば、鳥取県内の声を聞いてまわり、他会派にも協力を頂きながら、必要があれば議員提案で進めていくことも、検討しなければならないと感じた。
関連領収書番号	4-6, 4-8, 4-9

活 動 報 告 (県 外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	全国都道府県議会議員の会シニアクラブ研修会
活 動 年 月 日	令和 6 年 5 月 7 日 (火) 移動日・宿泊 令和 6 年 5 月 8 日 (水) 政務活動 13:00～17:00・宿泊 令和 6 年 5 月 9 日 (木) 移動日
場 所	群馬県前橋市大手町 1-1-1 群馬県庁 群馬県前橋市大手町 2-12-1 前橋市役所
活動の相手方	環境森林部自然環境課尾瀬保全推進室企画推進係主事・川上史歩他 小川あきら前橋市長・細谷誠一副市長・大野誠司副市長他
活 動 の 目 的	40 歳以下で都道府県議会に初当選した議員で構成する全国都道府県議会議員の会のシニアクラブが主催する研修会に参加した。シニアクラブの仲間である小川元群馬県議が前橋市長に当選し、今回は、小川市長には講師の側として参加して頂いた。
活 動 の 内 容	群馬県庁では、尾瀬国立公園の現状と課題について伺った。尾瀬国立公園では、トイレの維持に多額の費用が必要であることから、募金箱を設置し、ペイペイでの募金ができることも伺った。前橋市役所では、前橋市が取り組む公共交通の利便性の向上についてお話を伺った。完全自動運転のバスを実証実験されており、実際にバスにも乗車して、自動運転の精度の高さに大変驚いた。運転手不足を解消する手段の一助となるようであり、人件費を削減できるということである。
活 動 の 結 果 等	ペイペイで募金を可能とする方式については、大変興味深いものがあった。メリットとしては①QR コードを表示することで設置できるため、簡易に設置できる②募金箱を設置する必要がないので、お金の盗難の恐れがない、という二点が挙げられる。ペイペイでの募金額の割合は、全体の一割に満たないということでまだまだ浸透していない。しかし、遠い将来には、この手法が主流になっていくものと思われる。鳥取県内でも、導入できる場所の可能性を探ってみたい。また、自動運転は、鳥取市が進めているが、研究を更に進めたい。 
関連領収書番号	5-2, 5-4, 5-5, 5-6, 5-7

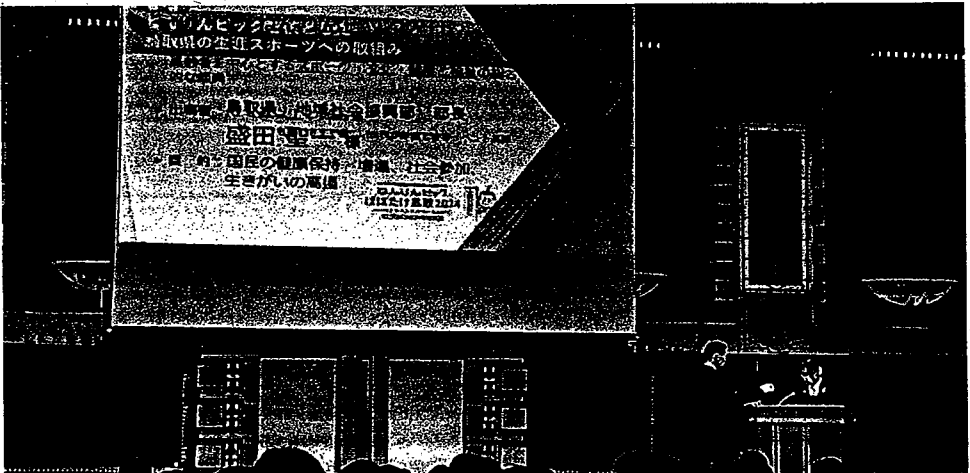
活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会
活 動 年 月 日	令和 6 年 5 月 11 日 14:00～16:00
場 所	東京都千代田区平河町 2 丁目 7-4 シェーンバッハ・サボー
活動の相手方	全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会の参加者
活 動 の 目 的	基本的人権の侵害である拉致問題は、何としても解決していかななくてはならない。拉致被害者ご家族の会のメンバーで、親の世代は二人となってしまった。[] さんのお母様の [] さんは 88 歳、[] さんのお父様の [] さんは 95 歳である。鳥取県では、1977 年 10 月 21 日午後 8 時頃に、米子市の [] さんが北朝鮮によって拉致された。我が事として、全国民が取り組まねばならない。
活 動 の 内 容	岸田総理大臣が、ご挨拶をされた。一か月前に訪米された内容にも触れられ、「拉致問題についても、バイデン大統領から、即時解決に向け、改めて力強い支持を得ることができました」と紹介があった。また、「総理大臣として自らが先頭に立ち、何としても私自身の手で拉致問題を解決するという強い決意の下、全力で取り組んでまいります」と、力強いご挨拶があった。また、各党代表者から、それぞれの立場からご挨拶があり、党派を超えた取り組みを確認した。
活動の結果等	全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会参加者と共に決議文を読み上げ、全員一致で確認した。決議文を締めくくりに記載された三項目は、以下の通りである。この三項目は、毎年同じであると思う。これは、拉致問題が解決していないことを指し示すものである。何としても、解決に向けて歩みを進めないとならない。 ① 政府は、全拉致被害者の即時一括帰国を早急に実現せよ。 ② 北朝鮮は、全拉致被害者一括帰国を早急に決断せよ。 ③ 閣僚、国会議員、地方首長、地方議員、国民の全員がブルーリボンをつけて、北朝鮮に対し救出への意思を示そう。 ※集会中、各県の参加議員が紹介された時の写真
関連領収書番号	5-3

活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	ワールドマスタースゲームズ 2027 セミナー
活 動 年 月 日	令和 6 年 5 月 13 日 (月) 移動日・宿泊 令和 6 年 5 月 14 日 (火) 11:00～13:30
場 所	大阪市北区天満橋 1-8-50 帝国ホテル 3 階 孔雀東の間
活動の相手方	公益財団法人ワールドマスタースゲームズ 2021 関西組織委員会 会長 三日月大造 他
活 動 の 目 的	私が勤めている関西広域連合議会議員宛へ、ご案内を頂いた。鳥取県議会から選出されている関西広域連合議会議員として、セミナーに参加し、共通意識を持つと共に、ワールドマスタースゲームズ 2027 が鳥取県にも良い効果をもたらすために、何ができるのだろうかという考えの一助とするために参加した。
活 動 の 内 容	東大阪市長からは、2027 年に向けた取り組みの説明などがあった。また、オリンピック卓球競技において日本人初の金メダルを獲得した ■■■■ 氏からのゲストスピーチがあった。その間に挟まれて鳥取県からも、盛田部長が鳥取県で開催される「ねんりんピック」の取り組みの説明があった。盛田部長は非常にわかりやすく説明され、鳥取県で開催される「ねんりんピック」へ、関西から多くの方にお出で頂くように呼びかけられ、大きな成果があったと考える。
活動の結果等	2027 年 5 月に開催が決定したワールドマスタースゲームズ 2027 関西大会は、開催三年前となった。コロナ後の日本をスポーツで元気にすると同時に、スポーツの持つ力や多くの人々との交流を通して地域の活力を高めるよい機会となるという共通認識を、参加者一同で、分かち合えたのではないだろうか。まだまだ認知度は低いと思うが、私も、関西広域連合議会の一員として、PR に取り組みたい。また、鳥取県で開催される「ねんりんピック」を通じて、ここで得た知見を、ワールドマスタースゲームズ 2027 に活かしていくことが必要だと考える。 
関連領収書番号	5-9, 5-10, 5-11

活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	能登半島地震を踏まえた防災対策について
活 動 年 月 日	令和 6 年 5 月 27 日 (月) 15:00～16:30・宿泊 令和 6 年 5 月 28 日 (火) 移動日
場 所	石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地 石川県庁
活動の相手方	危機管理監室危機対策課防災対策グループ専門員・桑山直也
活 動 の 目 的	令和 6 年 6 月議会で、能登半島地震を踏まえて、鳥取県としての防災対策について質問する。質問するにあたって、実際に、被災された石川県の防災対策についてお話を伺うことで、鳥取県における防災対策を更に充実強化していくための議論の一助とすることを目的とする。
活 動 の 内 容	今回、石川県に赴いて石川県の取り組みを拝聴するという政務活動を行ったわけであるが、これとは別に、災害ボランティアとして、珠洲市に入ってきた。地震から約 6 ヶ月が経とうとしているにもかかわらず、未だに、倒壊した家屋がそのままの状態で放置されている状況に言葉を失った。石川県は北に長く、金沢駅からバスで約 3 時間かかる状況にあって、復興がなかなか進まない現状があるのではないだろうか。復興については、市町村と連携しながら、県を挙げて取り組んでおられるということであった。復興の取り組みに加えて、震災が起こる前の取り組みについて、防災の観点から、どのような取り組みを行ってきたのかについて伺った。
活動の結果等	石川県では、令和 2 年 10 月 30 日 (金) の 13 時から 14 時の間に、防災訓練を実施している。想定としては、同日午前 10 時頃に、マグニチュード 7.2 の地震を想定した訓練内容を実施したとのことであった。その訓練には、石川県はもちろんのこと、市町にも来てもらい、消防などの約 30 機関が参加され、その中には、自衛隊も含まれていたということであった。大雨や、洪水、強風警報も想定され、土砂災害の危険もあるとの想定で進められた訓練だった。今回の地震は、その想定を遥かに上回る被害であったと考えるが、ホワイトボードを準備し、地図を広げての図上訓練の様子を写真で拝見したが、本番さながらの訓練だと感じた。鳥取県では、自衛隊を交えての図上訓練は、これまで実施されていない。石川県の取り組みも参考にしながら、自衛隊と更なる連携を進めて図上訓練の実施も取り組んでいかねばならないと考える。また、珠洲市において、新しい家は一切、損傷は見られなかった一方で、古い建物は、軒並み倒壊していた。地震が起こる前に、耐震補強を進めていくことも極めて大切なことである。鳥取県内の市町村における家屋の耐震状況について今一度調査をし、必要があれば、耐震補強を進めていくための取り組みについて、市町村と連携して進めていく必要がある。
関連領収書番号	5-13, 5-14

活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	全国災害ボランティア議員連盟総会研修会
活 動 年 月 日	令和6年6月3日(月) 11:00~18:30・宿泊 令和6年6月4日(火) 移動日
場 所	千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館第4会議室
活動の相手方	全国災害ボランティア議員連盟の皆様
活 動 の 目 的	防災対策をしっかりと行うことや、被災地と共に歩むことは、私の政治活動の大きなテーマの一つ。志を同じくする全国の仲間と意見交換する中で、今後、鳥取県において活かしていくべきことを一つでも多く学んでくることを目的に活動した。
活 動 の 内 容	全国災害ボランティア議員連盟の総会が行われた後、議員連盟に所属する議員が、能登半島地震に対して実施してきたことを発表された。その後、パネルディスカッションが行われた。被災日において、位牌等を取り出してほしいという要望や、災害救助法の適用になっていないことが大きな問題という議論がなされた。能登半島地震で、瓦礫の撤去等に従事するボランティアの姿は殆どなかった。公費解体も進まない中、瓦礫の撤去については、大きな課題である。
活 動 の 結 果 等	特に関心を持ったのは、NPO 法人Vネットの活動であった。能登半島地震で、避難所でニーズ調査をしたところ「お風呂」と「選択」だったことから、門前町の浦上避難所に浴槽 1 個男女別のお風呂を提供し、諸岡避難所にも浴槽 1 個男女別のお風呂を設置し、「今年初めてお風呂に入った」などの喜ばしい声を得たとのことだった。この法人の川上哲也理事長は岐阜県議会議員。私も、被災地の力になるための活動を何かしらしなければならないと思った。  ※写真は、前防災大臣の谷公一議員連盟会長がご挨拶される様子
関連領収書番号	5-15、6-2、6-3

活 動 報 告（県外）

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	学びの多様化学校について
活 動 年 月 日	令和 6 年 7 月 11 日（木）移動日 令和 6 年 7 月 12 日（金）10:30～12:00
場 所	東京都千代田区霞が関 3-2-2 文部科学省
活 動 の 相 手 方	初等中等教育局児童生徒課生徒指導室室長補佐・上久保秀樹 初等中等教育局児童生徒課生徒指導室生徒指導第一係・堀拓海
活 動 の 目 的	鳥取県内の保護者から、不登校になったお子さんの居場所と学びの確保についてご意見を頂いた。年々、不登校の生徒の数は増えており、課題が大きいと感じている。学びの多様化学校についての情報提供を受けたが、鳥取県には存在していない。国の方針を確認することを目的とする。
活 動 の 内 容	文部科学省でも、不登校のお子さんが増えていることへの課題意識は強く、令和 5 年 3 月に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COOCLO プラン）」を取りまとめ、各都道府県・政令指定都市において 1 校以上の設置を目指している。分教室型も含めて全国 300 校の設置を目指しており、各自治体に適した様々なモデルとなる学校の資料提供も受けた。一方で、現時点では 24 校の設置にとどまっており、ハードルが非常に高いと感じた。
活 動 の 結 果 等	国は、全国に設置するという目標を持っているということであったが、進捗状況を考えると、本気で目標達成するのであれば、予算措置も含めて国は抜本的な対策をしなければ増えていかないと感じる。まずは鳥取県を含めて全国的に学びの多様化学校のニーズ調査が必要であると感じた。また、鳥取県でも夜間中学が設置されたわけであるが、夜間学校に、その役割を担ってもらうことはできないか検討が必要ではないだろうか。また、全国 24 ある学びの多様化学校の内、美作市にも設置されていると伺ったが、自治体を超えて通うことができないか、共同で開設することができないかという検討も必要と感じた。不登校の課題は大きくなっていることから、様々な取り組みが行われている。フリースクール、教育支援センター、保健室などを含めて、多様な対策が行われている。不登校になっているお子さんも、行きたいけど行けない状況にあり、多様な居場所の提供は重要であると考え。新たに作ることも必要であるが、資源を分散させていくことよりも、現状、用意されている対策のほうに注力していくことも必要ではないだろうか。フリースクールに財政支援をしていくことに注力したほうが、子ども達のためになるのではないかと感じた。全国 24 校の取り組みの説明も頂いたので、特色ある取り組みをしている学校に調査に行くなどして、今後鳥取県で、どのように進めていくべきかという考え方を私の中でも固めていきたいと考える。
関連領収書番号	7-3, 7-4

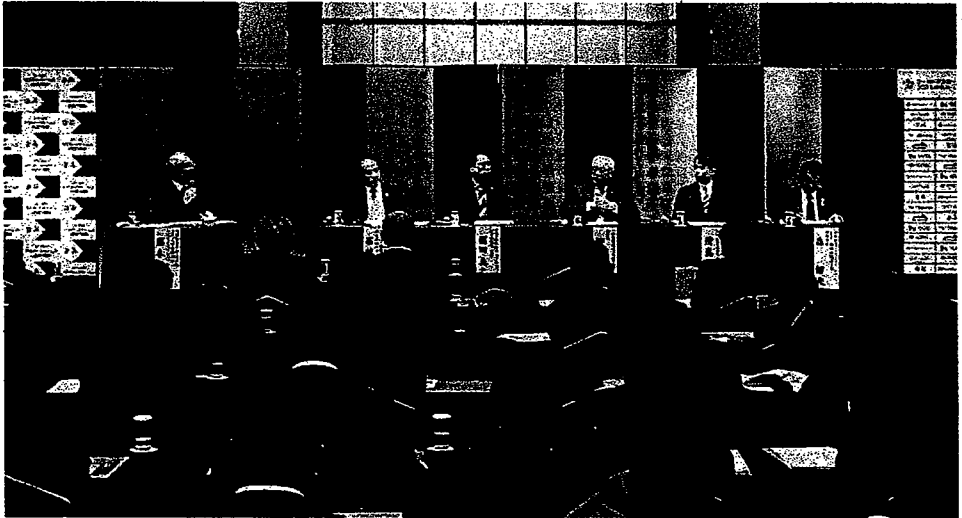
活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	morineki の取り組みについて
活 動 年 月 日	令和6年9月4日(水) 13:00~15:00
場 所	大阪府大東市北条3丁目10-5
活動の相手方	株式会社コーミン 代表取締役 XXXXXXXXXX
活 動 の 目 的	私は過去に岩手県「オガール」を視察したことがある。地方における持続可能なまちづくりを進めており、感銘を受けた。現在までに私を含めて数えきれないほど多くの方がオガールを視察したと思うが、オガールの例を参考にして同じようにまちづくりを進めた初めての例が、ここ「morineki」ではないだろうか。どのように進めてきたのか、鳥取県で参考にできることは何かを探ることを目的とする。
活 動 の 内 容	大阪府大東市の職員であった XXXXXXXXXX さんが、かつてオガールを視察して、同じようなまちづくりを進めたいと一念発起して取り組んだことが、すべての始まりだった。市役所を退職し、市役所にも協力を得て民間の力で、人が集まらない市営住宅を刷新し、地域経済の発展と環境保全の両立を実現した。周辺には人も集まり、子育て世代も増え、新築の家も建ち、保育所も満員となった。収支状況も順調で、潤沢な現預金も保有できる状況になっているということであった。
活動の結果等	第三セクターの成功例を見たと感じる。市議会では、賛成反対が拮抗し、現在は一票差で反対が多いようであり、入江さんがこれからも主導しようとするプロジェクトが進むかどうかについては、見通せないところがあるようだ。今回、話を聞き、現場を見させて頂く限り、反対する理由は全くわからなかったが、反対する側の意見も聞いてみたい。このような成功例をいかに鳥取で進めていくことができるのか、知恵を絞らねばならない。他の自治体を見て「よかった、素晴らしいかった」だけで終わらせては、鳥取の発展は望めない。 
関連領収書番号	9-2, 9-3

活 動 報 告 (県外)

議員名：坂野 経三郎

活 動 事 項	ワールドマスタースゲームズ 2027 セミナー
活 動 年 月 日	令和 6 年 11 月 25 日 (月) 16:30~18:00・宿泊 令和 6 年 11 月 26 日 (火) 移動日
場 所	大阪府大阪市北区天満橋 1-8-50 帝国ホテル大阪 5 階 八重の間
活動の相手方	ワールドマスタースゲームズ関西組織委員会
活 動 の 目 的	ワールドマスタースゲームズ 2027 関西大会の開催は、スポーツの持つ力や国内外の多くの人々との交流を通して地域の活力を高め、関西はもとより日本を元気にする大きな機会であるというご案内を、関西広域連合議会議員として受け取った。セミナーに参加することで、WMGが、関西広域連合において重要な位置づけとなっていることを認識し、学びを深めることを目的とする。
活 動 の 内 容	健康社会の実現やスポーツに取り組んでいらっしゃる企業、団体からの発表や、ワールドマスタースゲームズ 2027 関西大会の今後の取り組み発表などが行われた。日本の元バレーボール全日本女子チームの監督である■■■■氏など、各界で活躍されている方々によるパネルディスカッションが行われた。また、セミナー閉会后、18:30より連携団体であるアスリートネットワークの「感謝の夕べ」が開催され、参加者と意見交換を行った。
活動の結果等	日本は、長寿社会となったといえ、健康寿命との差が大きい。生きていても、自分の力で生活することができなければ、喜びは少なくなる。健康に生活をするためには、健康寿命の延伸が必要不可欠であり、スポーツがその一助となる。次世代を担う子どもたちが、スポーツをすることが「嫌」とあるとか「苦手」という認識を幼い頃から持つことなく慣れ親しむことが生涯スポーツを楽しむことにつながるということを強く認識した。 
関連領収書番号	11-4, 11-5, 11-6

活 動 報 告 (県 外)

議員名：坂野 経三郎

活 動 事 項	① 地域公共交通によるまちづくり手法 ② 県庁舎による働きやすい職場環境づくり
活 動 年 月 日	① 令和6年12月22日(日) 16:00～17:00・宿泊 ② 令和6年12月23日(月) 09:00～11:00
場 所	① 和歌山県紀の川市貴志川町神戸 803 貴志駅 ② 和歌山県和歌山市小松原通 1-1 和歌山県庁
活動の相手方	① たま駅及び周辺の皆様 ② 和歌山県地域振興部観光局観光交流課副課長・小川貴生
活 動 の 目 的	① 令和6年12月15日(日)に鳥取県で行われた地域公共交通まちづくりシンポジウムに参加し、和歌山電鐵が猫をシンボル化した「たま駅」の存在を知った。この取り組みを直接見ることで、鳥取県でも活かせることがないかを探ることを目的とする。 ② 和歌山県庁における働きやすい職場環境づくりの現状と課題。
活 動 の 内 容	① たま駅で、駅員さん、入っておられるカフェの方や、観光客や周辺住民の声を聞いた。閑散としていた場所が生まれ変わり、プラスの評価しか耳にしなかった。 ② 和歌山県庁舎内を歩いてみたが、ネクタイを締めておられる方は、数名しかいなかった印象だ。鳥取県庁舎内では、現場に出られる職員以外は全員がネクタイを締めているという印象であり、その違いについて驚いた。
活動の結果等	① 鳥取県で同様の取り組みができるかと言えば極めて難しいが、鳥取県内におけるまちづくりのヒントにしなければならないと考える。下の写真は、たまちゃん駅前で撮影したもの。 ② 関西広域連合議会に出席した際、執行部側に座っておられる方々はみんなネクタイをしている。一方、和歌山県の岸本知事だけが襟付きシャツも着ずネクタイも締めない状況で、ジャケットを羽織っておられたことが印象的で和歌山県に来了。職員に話を聞いてみても、知事が率先してノーネクタイを進めていることから、ネクタイを取ることに対して抵抗は無いというお話を伺った。
関連領収書番号	12-4, 12-5



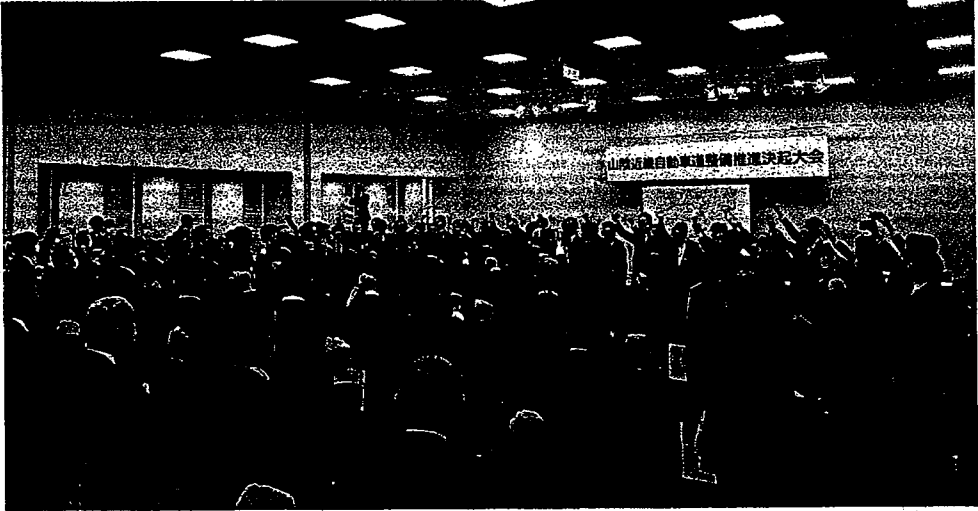
活 動 報 告（県外）

議員名：坂野 経三郎

活 動 事 項	令和 6 年度鳥取県×関西経済連合会経済交流セミナーin 関西
活 動 年 月 日	令和 7 年 1 月 16 日（木）16:30～19:00・宿泊 令和 7 年 1 月 17 日（金）移動日
場 所	大阪府大阪市此花区桜島 1-1-35 リーベルホテル大阪
活動の相手方	鳥取県政策戦略本部関西本部長・森本誠人
活 動 の 目 的	鳥取県政策戦略本部関西本部が主催し、関西経済連合会と協力して実施するセミナー。私は関西広域連合議会議員も務めていることから、関西における鳥取とゆかりのある企業の皆様の声を聞かせて頂くと同時に、関西広域連合議会として鳥取のためにできることを一つでも多く探っていくことを目的に参加した。
活 動 の 内 容	鳥取県から「鳥取県の立地支援施策」について説明、鳥取県産業振興機構から取り組みの紹介、公益社団法人関西経済連合会から取り組みの紹介の後、 ■■■■ さんと、 ■■■■ さんによる「鳥取県の魅力と関西圏との経済交流による更なる活性化への期待」と題されたトークセッションが極めて面白かった。 ■■■■ さんのご発言の中の「東京は金がかかるが便利。鳥取は金がかからないのに便利」というお言葉が鳥取の素晴らしさを一言で言い表した金言であると大変感銘を受けた。
活 動 の 結 果 等	鳥取出身の石破総理が地方創生を強く打ち出されている中、鳥取県や鳥取県が参加している関西広域連合には大きなチャンスがあると考え。東京一極集中を打破し、関東と関西の二拠点を中心に、鳥取県の存在価値が際立ってくる局面が必ずくると考えている。官と民が協力をして鳥取県を更に盛り上げていく機運が高まる大きな成果あるイベントだった。会場では、万博の期間中に設けられる県産品の販売コーナーも設置され、来場者をはじめホテルの利用客が立ち寄られていた。 
関連領収書番号	1-6, 1-7

活 動 報 告 (県 外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	山陰近畿自動車道整備推進決起大会
活 動 年 月 日	令和 7 年 1 月 20 日 (月) 移動日・宿泊 令和 7 年 1 月 21 日 (火) 10:00～11:00
場 所	東京都千代田区永田町 2 丁目 2-1 衆議院第一議員会館 多目的ホール
活動の相手方	山陰近畿自動車道整備推進議員連盟 山陰近畿自動車道整備推進協議会
活動の目的	私は、道路整備とはまさに、「命を守る道路」としてしっかりとした整備が必要になっていると考える。1 月 28 日には、埼玉県八潮市では、下水道管の老朽化により県道が大規模陥没し、大きな事故につながった。新しい道路を整備すると同時に、現状敷設してある道路についても整備点検が必要である。
活動の内容	昨年まで会長を務められた石破衆議院議員は、総理大臣になられ公務多忙のために会長職を退かれたために欠席だったが、山陰近畿自動車道整備推進議員連盟に所属されている県内選出の国会議員も参加をされ、決意のご挨拶があった。山陰近畿自動車道整備推進協議会・国土交通省・山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会・丹後地域高規格道路推進協議会等・但馬地域高規格道路推進協議会等・鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会等、参加されたすべての皆様の熱意あるガンバローコールで、大いに会場が奮い立った。
活動の結果等	三府県議員の会としては、以下の要望書を国に手渡した。 ① 来年度予算に向け、事業中区間の予算を確保 ② 早期の全線供用に向け調査中区間の調査推進に必要な予算確保 ③ 道路ネットワークの早期実現 ④ 道路関係予算の上積み ⑤ 高規格道路の整備に必要な予算・財源を通常予算とは別枠確保 ⑥ 地方整備局等の体制の充実・強化 
関連領収書番号	1-8, 1-9, 1-10

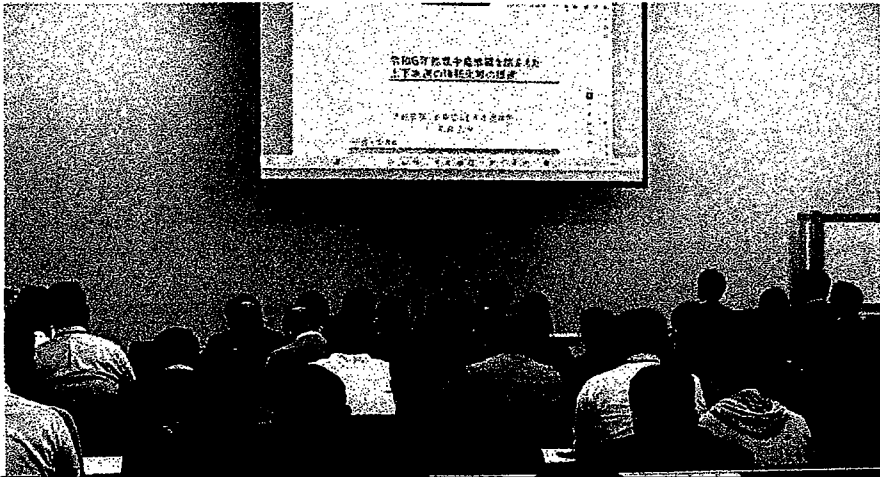
活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	庁舎における働きやすい環境づくりについて
活 動 年 月 日	令和 7 年 1 月 23 日 (木) 移動日・宿泊 令和 7 年 1 月 24 日 (金) 09:00～11:00 25 日 (土) 移動日
場 所	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1 茅ヶ崎市役所
活動の相手方	茅ヶ崎市役所経営総務部職員課・金川桂子
活 動 の 目 的	鳥取県庁舎を歩いてまわると、男性職員は例外なくネクタイを着用している。一方で、茅ヶ崎市役所では、通年、ノーネクタイノージャケット運動を展開されており、成果が出ていると聞いた。導入の目的や成果について、調査研究し、鳥取県でも導入できないかどうか検討することを目的とする。
活 動 の 内 容	茅ヶ崎市役所庁舎全体を歩いてみた。驚いたのは、庁舎内で働く職員さんでネクタイを着用されているのは、二人しか見つけることができなかった点だ。しかも、そのうち一人は、庁舎に入っている金融機関で働いておられる職員さんだった。茅ヶ崎市役所の職員としては、ネクタイを着用されているのは一人だけという状況だった。鳥取県庁舎内で見える光景と全く違っていた。運動を展開する担当課である職員課のお話しでも、茅ヶ崎市役所での取り組みの成果を、鳥取県庁でも活かしてもらいたいということだった。
活動の結果等	令和 3 年 4 月 1 日から 1 年間、「ノーネクタイ・ノージャケット」を試行し、令和 4 年 4 月 1 日から本格実施されたと聞いた。私が現地を訪ねて特に関心を抱いていたのは、どれくらい職員に浸透しているかであったが、実際に自分の目で見て驚いた。更に、職員にお話しを伺って、特に印象的だったのは、市民の声と、職員の声だった。公務員といえば、真面目に懸命の職務に邁進するイメージがあり、ネクタイとは切っては切れないイメージを抱いていた。服装に自由度を高めることは、市民から不満・不安の声が寄せられるのではないかと感じていた。しかし、驚くべきことに、市民からの否定的な声は一件もないということだった。更に喜ばしい声は、職員の声であった。「ネクタイを締め、ジャケットを羽織ると肩が凝り疲れる。服装の自由度を高めることは、仕事の効率化につながった」ということを直接聞いたのは成果であった。市民からは、不満の声はなく、職員からは仕事の効率化につながるということならば、鳥取県でも同様の運動を浸透させていく必要性を強く感じた。鳥取県では、特にネクタイの着用の義務を課しているということではないようだが、実際には現場仕事がある以外の職員は全員ネクタイを着用している状況であると言っても過言ではない。県議会における一般質問で提言し、それぞれの職員が働きやすいように自らネクタイを着用するかどうかを選ぶことができるように働きやすい職場を目指していく。
関連領収書番号	1-11, 1-12, 1-13, 1-14, 1-15

活 動 報 告 (県外)

議員名： 坂野 経三郎

活 動 事 項	第3回水の政治・政策オープンフォーラム
活 動 年 月 日	令和7年1月31日(金) 13:00~14:10
場 所	東京都千代田区永田町2丁目2-1 衆議院第一議員会館 大会議室
活動の相手方	国土交通省大臣官房参事官・石井宏幸
活 動 の 目 的	1月28日に、埼玉県八潮市において、下水道管の老朽化により県道が大規模に陥没した。下水道管の老朽化という課題に直面しているのは、鳥取県も例外ではない。大臣官房参事官から最新の塞翁作を伺うことで、鳥取県での対策に活かしていくことを目的とする。
活 動 の 内 容	「水道&下水道管路耐震化について～老朽管への対策これまでの経過と今後の対応～」という演題で、石井参事官から講演があり、質疑応答が行われた。日本全体の水道管路延長は約74万kmであり、40年とされる法定耐用年数を超えた延長は約17.6万kmとなっている。日本全体の下水道管路延長は約49万kmであり、50年とされる法定耐用年数を超えた延長は約3万kmとなっている。20年後には、水道管路経年化率は69%、下水道管路経年化率は40%まで上昇。
活 動 の 結 果 等	私が驚いたのは、埼玉県八潮市の事故は下水道管が原因ということであったが、水道管のほうがより老朽化している現状であった。管は地中に埋まっており、状況を確認することは容易ではない。今回の講演を聞く限り、画期的な対応策を国が持ち合わせているわけではないと理解した。一方で、対応年数を超えた管を全て取り換えるだけの予算の確保は難しいようである。そうであるならば、対応年数を超えた管路の中でも、とりわけ対策が必要な個所を的確に見極めた上で、適切な対応が必要である。全国各地で抱える水道管・下水道管の大きな課題について鳥取県として、どのように対応しているのか現状の把握と、今後の対応策について、今後調査研究する 
関連領収書番号	1-16, 1-17